

6月の園生活のために
～安心して自分の道を歩んでいけるような愛着関係を～

6月になると、子ども達も園の環境に慣れ、生活リズムが整ってきます。この頃には行動が大胆になる子の姿も見られるようになり、保育者も新たな一面をすることもあります。

入園当初から人見知りもなく、大人を見つけると笑いながら話しかける2歳児クラスの0君は、大人びた口調で友だちに指示したり、保育者を独り占めしようとするなどの行動が目立ち、友だちとのトラブルが「多い子でした。保育者は0君と友だちの関係が良好になるように言葉をかけていきましたが抱っこやおんぶをせがむだけで受け入れてくまませんでした。家庭ではお母さんと一緒にスマホのゲームをして過ごすことが多いとのことでした。これまでの0君の行動の原因は何なのか園全体で考えました。もしかしたら0君は、愛着の絆がうまく結ぶべくなかった故の事だったのではないかと思いました。愛着関係は、子どもの心の動きに共感していく事で気持ちや感情が通い合い築かれていくといえます。

子どもの心の中では、生後3日目頃から、「いないいないばぁ」等一対一のやり取りから、関わってくれる人がいるという気づきが生まれ「この人は自分をいい気持ちにさせてくれる」という体験になります。8か月頃から見られる人見知りは、特定の人を認識し始めている証拠で、知らない人に出て恐怖や不安を感じた時に「特定の人」が大丈夫だよと守る事で絆が強くなってきます。これを「安全基地」と言います。同様に「この人いると落ち着くな」「ほっとするな」「何だか楽しくなってきた」等ポジティブな感情を生じさせてくれる事を「安全基地」と呼びます。この二つが愛着形成の基盤となります。そしてこの両輪の上に探索行動が意欲的に行われ、やがて自立へと向かっていくといわれています。

1・2歳児の頃の不安な時に身体接触を求める体感や人への基本的信頼感の形成は、自己を肯定する心の根幹となります。

愛されている子は、人を愛することができます。大人に思いを汲みとってもらい子どもは気持ちが満たされていきます。愛着（アタッチメント）は、今の自分を丸ごと愛してくれる人に出会い共感してもらって経験を通して育てられ、悩みながらも進んでいける勇氣を与えてくれることでしょう。

なでしこ子ども園園長 藤巻真由美
第2なでしこ子ども園園長 鈴木 真理
クレイシュ保育園園長 小清水幸子

6月聖句

見よ、それは極めて良かった。

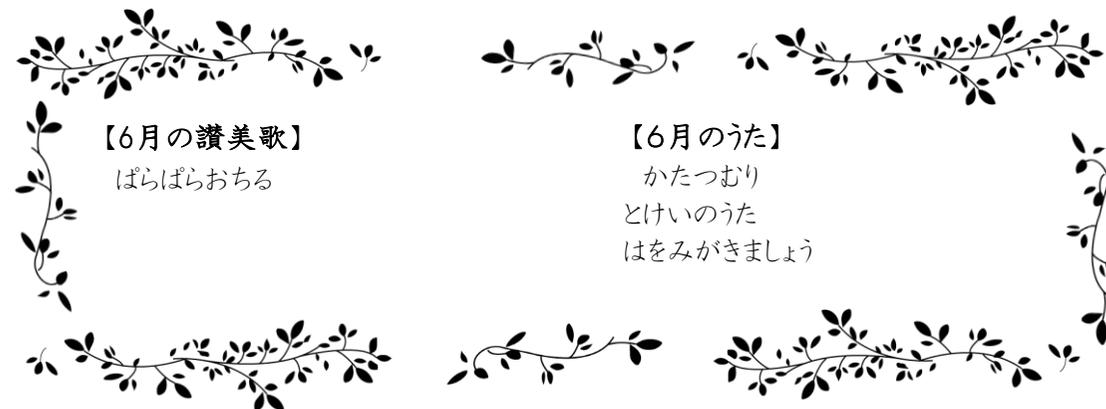
創世記1章31節

6月主題

「あれっなんだ」0・1・2歳

～子どもたちの姿～

春風の心地よい季節となりました。子どもたちは新しい友達に関心を持ち「はい、どうぞ」と玩具を手渡したり、泣いていると「お腹が空いているのかな?」「大丈夫?」と顔を覗きこむ様子が見られます。外遊びでは、ハイハイで友だちと追いかけてっこをしたり、つかまり立ちから伝い歩きをしたり特には子ども同士で向かい合い何やら楽しそうに声を発し笑い合っている姿も見られます。異年齢の活動の中で友だちを想う心が育まれたり、自分も同じようにやってみたい!と思う気持ちなど刺激し合いながら興味、関心の幅を広げていっているように感じます。一人ひとりの発達に応じた遊びや生活の中で、豊かな体験がたくさんできるよう寄り添っていきたいと思います。



【6月の讚美歌】

ばらばらおちる

【6月のうた】

かたつむり
どけいのうた
はをみがきましょう

	月	火	水	木	金	土	日
6月の予定表						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10 身体測定	11	12	13	14 検体予備日	15	16
	17	18 内科検診	19 歯科検診	20 避難訓練	21	22	23
	24	25 誕生日会	26	27	28 クレイシュ通信	29	30
◎汗をかき着替えも多くなるため、薄手の下着や半袖、汗拭きタオルの用意をお願いいたします。							